

# PRTR集計結果の公表について

情報交流部 池貝隆宏

## 1 はじめに

平成 11 年に公布された特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に基づき、PRTR（環境汚染物質排出移動登録）の運用が開始され、平成 15 年 3 月に平成 13 年度分の年間排出移動量データが国から公表された。PRTR では、市民の環境への化学物質排出に対する関心の向上を目指し、地方自治体は県内の PRTR データをわかりやすく公表することが必要とされている。そこで、環境科学センターでは平成 15 年 7 月 30 日に専用のホームページを作成し公開したので、その概要を報告する。

## 2 データ公表に関する意識調査

PRTR データ公開の手法とその構成を決めるために、平成 12 年度に市民や PRTR パイロット事業対象事業所関係者等を対象としたデータ公表に関する意識調査を実施した。「どんな化学物質に関心があるか」、「どのようなデータを見たいか」などの設問を含む 13 項目のアンケート調査（438 名から回答）を行ったところ、次のようなことが明らかとなった。

農薬、環境ホルモン、自動車排ガスなどに対する関心が高い

環境への関心が高くなるほど情報の「わかりやすさ」より「詳しさ」を優先し、インターネットの活用度も大きくなる

環境への関心が高い人は、行政やマスコミから発信される情報より第三者機関(NGO など)から発信される情報に関心を持つ

身近な地域の情報、特に地域内で環境中に排出される化学物質の総量に関する情報及び物質の用途に関する情報に対する関心が高い

## 3 データ公表の基本方針

上記の意識調査の結果を踏まえ、公表のあり方を検討した結果、次のようなデータ公表システムを作成することとした。

インターネットを環境に関心を持っている人向けの公表手段と位置付け、業種や地域などの項目ごとに集計したデータを発信する

排出量は、届出外排出量を含む総量を表示するとともに、物性や用途等の情報をリンクし、可能な限り詳細なデータを同一画面で表示できるようにする  
物質検索は「わかりやすさ」を優先し、キーワードには有害性クラス分類のほかに関心の高い化学物質である「農薬」、「環境ホルモン」、「自動車排ガス」を含める

市民が PRTR データを活用するためのヒントとして、市町村別色分け地図、産業系排出量の業種別比較グラフをデータの加工例として紹介する

## 4 ホームページの概要

### 4.1 神奈川県の実排出状況

神奈川県における平成 14 年度集計（平成 13 年度分）の PRTR 対象物質の環境総排出量は 39,500t/年であった。このうち、34%が届出事業所からの排出であり、家庭からの排出は 6%、自動車等の排ガスが 12%を占めた。物質別に見ると、トルエン、キシレンなどの溶剤系物質の排出量が多かった。

### 4.2 ホームページの構成

上記の神奈川県の集計結果は、今回新たに作成したホームページ「かながわ PRTR 情報室」(URL <http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/prtr/>) で詳しく調べることができる。ホームページの構成を図 1 に示した。

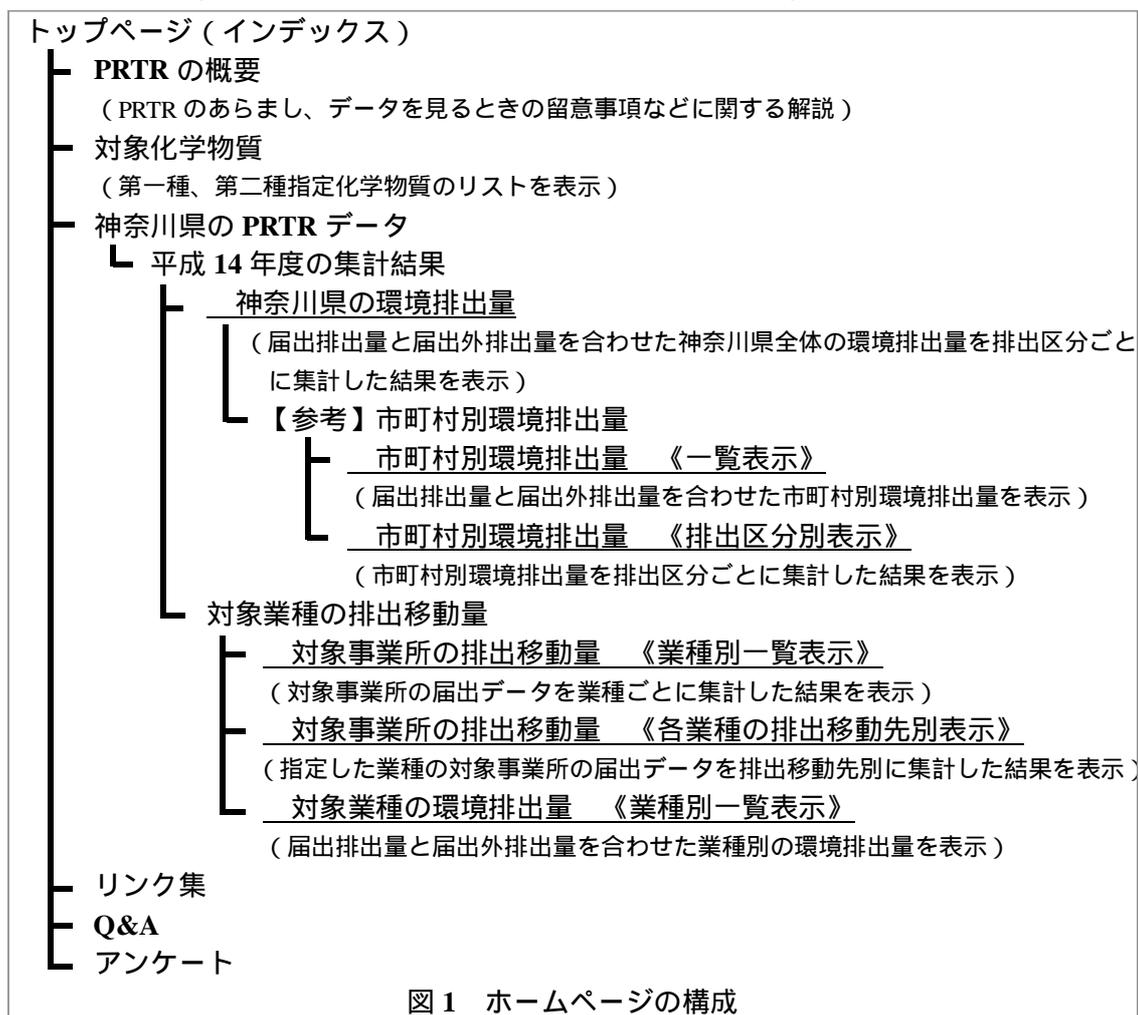


図 1 ホームページの構成

平成 13 年度分の PRTR データは、図 1 中 から で示した 6 種類の検索により閲覧することができる。検索画面では、検索の種類に応じて「物質の種類」、「市町村」、「業種」など所定のキーワードを選択することにより、該当物質の抽出、表示を行うようになっている。

### 4.3 神奈川県の環境排出量

図 2 に神奈川県の環境排出量の検索画面（図 1 の ）を示す。キーワードのうち「物質の種類」は、PRTR 対象物質の選定基準になっている 20 種類の有害

性クラス分類を基本としており、これに関心の高かった物質区分である「農薬」、「環境ホルモン」及び「自動車排ガス」を加えた23種類の中から指定するようになっている。

キーワードを指定すると、該当する物質のリストを多い順に抽出し、表示する。図3にキーワードに「発がん性クラス1」を指定して検索した結果を示す。神奈川県全体の環境排出量の内訳や媒体別排出率に関する情報は、この検索で調べることができる。

検索結果である物質リストの表示項目には、どの検索においても「政令番号」と「化学物質情報」が含まれる。物質リストの「政令番号」は、物質の用途や生産量に関する情報にリンクしており、クリックするとその情報を別画面で表示する。また、「化学物質情報」の欄で表示される「神」、「環」、「評」の文字は、それぞれ環境科学センターのKIS-NET（神奈川県化学物質安全情報提供システム）、環境省のPRTR法指定化学物質有害性検索システム、製品評価技術基盤機構の化学物質ハザード評価シートに直接リンクしており、これらのインターネットサイトの物性情報を直接閲覧することができる。

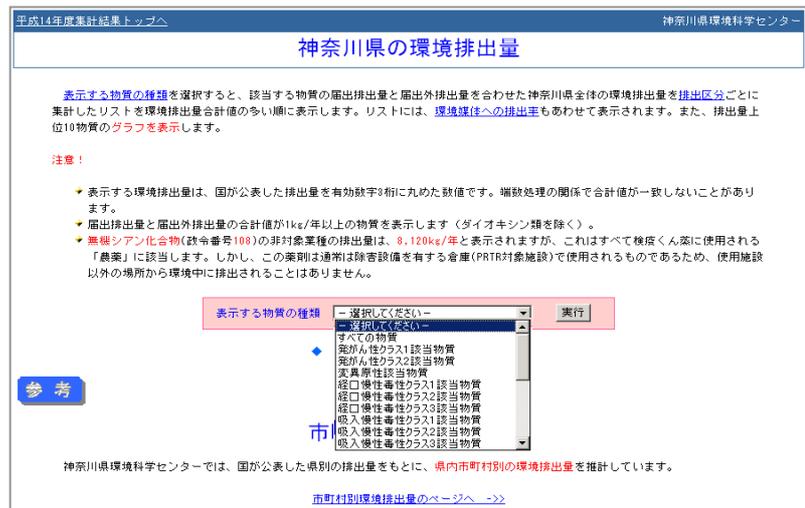


図2 「神奈川県の環境排出量」の検索画面

政令番号	名称	化学物質情報	届出排出量	届出外排出量					総計	排出率(%)	
				対象業種	非対象業種	家庭	移動体	小計		水域	その他
	発がん性クラス1 該当物質合計		268000	55500	343	0	504000	559000	827000		
299	ベンゼン	神環評	63200	23100	1	0	504000	527000	590000	0.2	99.8
232	ニッケル化合物	環	85500	12100	0	0	0	12100	97600	4.8	95.2
42	エチレンオキシド	神環評	65700	19600	0	0	0	19600	85300	0.3	99.7
77	塩化ビニル	神環評	48100	0	0	0	0	0	48100	0.3	99.7
26	石綿	神環	3100	2	22	0	0	24	3130	-	-
252	砒素及びその無機化合物	環	1740	37	0	0	0	37	1780	97.9	2.1
69	6価クロム化合物	環	955	725	320	0	0	1050	1400	-	-
60	カドミウム及びその化合物	環	43	3	0	0	0	3	46	89.5	10.5
294	ベリリウム及びその化合物	環評	0	6	0	0	0	6	6	6.7	93.3
179	ダイオキシン類	神環	27300	32700	7430	14	66	40200	67500	0.1	99.9

図3 神奈川県の環境排出量を「発がん性クラス1」で検索した結果

#### 4.4 市町村別環境排出量

県内の地域別集計結果は、「市町村別環境排出量」のページから検索する。ここでは、県内37市町村の環境排出量の合計値を一括して表示する《一覧表示》(図1の )と、各市町村の環境排出量の内訳(届出、対象業種届出外、非対象業種、家庭、移動体)を表示する《排出区分別表示》(図1の )の2種類を検索することができる。地域間の比較をしたいときは《一覧表示》、より詳細な情報を知りたいときには《排出区分別表示》を利用すると便利である。《一覧表

示》では、全県合計の環境排出量が1トン/年以上ある物質については、色分け地図を作成している。地図は、図4のように市町村別面積あたりの総排出量を5段階に色分けしたものであり、検索結果で表示される物質リストの「名称」をクリックすると別画面で表示される。《排出区分別表示》では、図3と同じ書式の物質リストが表示され、市町村ごとの届出対象事業所数に関する情報もここで調べることができる。

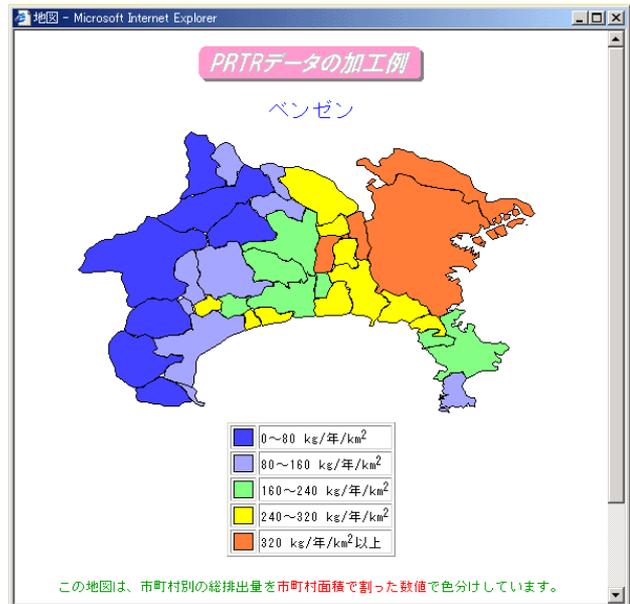


図4 ベンゼンの地図表示

#### 4.5 対象業種の排出移動量

PRTRの対象として政令で指定された業種に関する産業系のデータについては、「対象業種の排出移動量」のページから検索する。産業系のデータについては、細かい地域区分で集計を行うと偏りが大きく、業種ごとの特徴がつかみにくくなるため、県下全域を対象とした業種別集計により、データを作成している。ここでは、届出対象事業所届出値の業種別集計値を排出移動の区分ごと一括して表示する《業種別一覧表示》(図1の )、指定した業種の排出移動の内訳を表示する《各業種の排出移動先別表示》(図1の )、裾切り以下の事業所分(届出外排出量)を含む県内対象業種の全事業所の環境排出量合計値を一括して表示する業種別環境排出量の《一覧表示》(図1の )の3種類を検索することができる。届出対象事業所の《業種別一覧表示》では、4業種以上から排出量又は移動量が報告された物質については、図5のように従業員あたりの排出量の比較グラフ(上位10業種)を作成しており、検索結果で表示される物質リストの「名称」をクリックすると別画面で表示する。同様に、業種別環境排出量の《一覧表示》の検索においても、生産額あたりの排出量の比較グラフを表示することができる。



図5 ベンゼンの大気排出量のグラフ表示

#### 5 おわりに

PRTR データは、平成 15 年度以降も毎年公表されることになっているので、インターネットによる情報表示についてもユーザーの意見を反映させ、随時改善を行いながら、わかりやすい情報提供を継続して行っていく予定である。